



2007年7月 第301号

# スズキ労連

2007年  
7月号

静岡県浜松市南区増楽町20  
電話(053)447-3079  
スズキ関連労働組合連合会  
発行人 加藤 幸博  
編集人 光田 玄

# 参議院選挙投票日は 7月29日(日)

## 自分や家族の将来のために…。 活かしてください! あなたの大切な一票

7月29日(日)は参議院選挙投票日。  
私達の代表である国会議員を選ぶ重要な選挙です。  
日々の暮らしに対する不満や将来の不安を解消するには、政治を変えなくてはなりません。

## 投票に行こう!

選挙は政治に対する自らの意思を表明する大切な機会。  
家族や友人・知人にも投票を呼びかけ、選挙日には皆さんで誘い合って投票に行きましょう。  
あなたの一票が、私達の暮らしと未来を変えます。  
●投票時間: 午前7時～午後8時まで(原則として)  
●投票場所: 事前に届けられる「投票所入場整理券」をご確認下さい。



労使の話し合いだけでは変えられないことがいっぱいありますが、私達の代表を国政に送れば私達の声が代弁されます。政治活動はひとつだけではなく、私達の生活に直結した大きな取り組みであり、中でも参政権の行使、すなわち「投票に行くこと」はもっとも身近かつ有効な活動なのです!

### 参議院選挙 期日前投票

投票日の前に投票ができます。  
投票日に仕事や冠婚葬祭、旅行、レジャーなどの予定がある場合。  
●投票期間  
公示日の翌日から投票日の前日まで  
●投票時間  
午前8時30分から午後8時まで(一部地域を除く)。  
土曜日や日曜日と同じ時間に投票可能。  
●投票所  
市区町村の役所や役場などに設置  
詳しくは、ご自分が選挙人名簿に登録されている市区町村の選挙管理委員会にお問合せください。



### 投票手順

- 1. 宣誓書に記入する**  
宣誓書兼請求書に記入して受付に提出します。
- 2. 投票用紙をもらう**  
宣誓書の記載事項が確認されると投票用紙が交付されます。
- 3. 投票用紙の記入・投函**  
投票用紙に記入し、投票箱に投函します。

# アクア・トトぎふ 岐阜県世界淡水魚園水族館

## 優待割引案内

- 所在地: 岐阜県各務原市川島笠田町1453  
河川環境楽園内  
TEL.0586-89-8200 FAX.0586-89-8201
- 展示規模: 世界最大級の淡水魚水族館  
4階建/延床面積: 約8,400㎡  
淡水生物の飼育展示種類は世界有数  
魚類、両生類など約220種 25,000点  
水生植物 約40種 3,500点
- 休館日: 無休(臨時休館の場合あり)
- 開館時間: AM 9:30～PM 6:00 (最終入館はPM 5:00)  
\*7/28～8/10、8/20～26は  
～PM 7:00 (最終入館はPM 6:00)  
\*8/11～19は  
～PM 8:00 (最終入館はPM 7:00)

【料金表】

区分	通常料金	優待料金
大人	1,400円	1,260円
中・高校生	1,100円	990円
小学生	750円	670円
3歳以上幼児	370円	330円

- ご利用範囲 5名様まで
- ご利用方法 優待割引券を水族館券売カウンターにてご提示
- ご利用期間 2007年7月10日(火)～9月2日(日)



割引券は労連HP Topページよりダウンロードできます!  
パスワード:saw2007

## 「スズキ労連」機関誌に対する ご意見・ご要望がございましたら 編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20(スズキ労働会館内)  
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838  
e-mail: mitsuda@suzuki-union.or.jp  
◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>  
\*スズキ労連活動状況(労連ブログ)・スズキ労連機関誌  
新聞覧パスワード…saw2007



労連HP見てね!  
ブログも頑張って更新中です!

6月9日(土)・10日(日)の2日間にわたり、ヤングリーダー研修会が浜松市村楠の「カリアック」にて開催されました。

今回の研修は「イベントプロデュース」を実際に行い、各単組での青年部活動にフィードバックすることで主体的に活動を行う人材の育成、そして次世代の青年部リーダー育成を目的として開催されました。そしてなにより、はじめて出会う人たちとどのようにコミュニケーションを図ればよいのか、実際にアイスブレイクゲーム等を体験して、その手法を身を持って学習していただきました。

スズキ部品富山労組・岐阜スズキ労組といった遠方の単組からも参加していただき、ほぼ(?)若い方ばかりの参加者たちはあっという間に打ち解け、ゲームでも大騒ぎ!

後半はグループごとに分かれてイベントプロデュースを行い、グループ発表では他のグループからの質問攻めでタジタジといった場面も…!?

夕食後も研修が続くタイトスケジュールではありましたが、みなさん若さで克服。普段なかなか話す機会のない他労組・支部の仲間達とのコミュニケーションを存分に楽しんでいる様子でした。この研修で知り合った仲間達との交流、今後も是非、続けていただきたいですね。

## さあ、次回はあなたが参加してみませんか?!

研修生に書いていただいた受講アンケートを見てみると、研修会のテーマは今後も変わらず、他の若い組合員さんに自分たちと同じ経験をしてもらいたいとの意見を多数いただきました。事務局としてもこれらの意見を尊重し、ますます中身が濃く、楽しい研修、そして他労組の組合員とのコミュニケーションの場の提供に努め、労連内の連携強化、活性化につなげていきたいと思っております。



富士社会教育センター 川上先生

## 《充実の2日間!その中身とは?》

●1日目●  
まず全労済・労金の研修からスタート。その後、富士社会教育センターの川上先生の研修になってからは徹底的に研修生同士のコミュニケーションを図ってもらいます。⇒



別に気分が悪くなっているわけではありません。じゃんけんゲームなんだけど負け続けると蛇扱い!四つんばになり手を使わずに屈辱の顔じゃんけんをやられます。⇒

やっと本題のイベントプロデュースがスタート!夕食を食べた後もグループに分かれての熱い議論は続きます。そのまま勢い余って研修時間後にアルコール入りのグループディスカッションを行なったところもあったか!⇒



●2日目●  
日が変わってグループ発表前の様子。時間が迫る中、発表用の資料を大急ぎで作成中。チームワークが肝心です。⇒



緊張のグループ発表の様子。いろんなイベント企画が発表されましたが、研修生や講師から鋭いツッコミが飛んでタジタジの場面も…。⇒



研修最後に川上先生が全体のまとめを行い、上の集合写真へ!

お詫びと訂正  
300号P11の2007年安全標語入賞作品欄  
佳作入賞者の名前に誤りがありました。  
お詫びして訂正させていただきます。  
(誤)佐藤修次さん→(正)佐藤修司さん



## 平和への道 力あわせて大きな前進 「連合・平和行動in沖縄」 に参加しました。



連合は、6月23日の「沖縄慰霊の日」にあわせて、23、24日に沖縄県下で平和行動を実施し、全国からおよそ2000名の組合員が集い、スズキ労連からは古川事務局長が参加しました。23日は、「2007平和オキナワ集会」を那覇市内で開催。24日は、ピース・フィールドワークが行なわれ、嘉手納や普天間などの基地、ひめゆり資料館や糸数壕などの戦跡、平和記念公園などを、1日かけて駆けめぐりました。そして夕刻から、集会・デモ行進し、2日にわたる沖縄平和行動を締めくくりました。

日米地位協定の見直し・普天間基地撤去・米軍再編法の成立等、返還されてから今日まで常に日米のパワーバランスの狭間でゆれている沖縄。私達は連合とともに沖縄での平和活動を続け、真の安らぎと確固たる主権の確立を目指していきます。



自動車総連からの参加の面々。スズキ労連・古川事務局長は右から2人目。



多くの一般住民が犠牲になった糸数アブリチガマの壕内。この狭い空間に600名もの負傷兵が収容されていたという。



基地により分断されてしまっている普天間の町。いつまでこの状況が続くのだろうか…。

## 連合アピール

今から62年前、太平洋戦争の末期、沖縄に上陸した米軍と日本軍との戦闘により、沖縄県民をはじめ20数万人の尊い命が犠牲となりました。6月23日は日本軍の組織的抵抗が終わった日です。太平洋戦争で最も激しい地上戦が行われた結果、民間人の犠牲者数は軍人の死者をはるかに上回り、緑豊かな島は、無惨にも焦土と化しました。沖縄県民は本土防衛・国体護持のため、時間稼ぎの捨て石となることを強要されたのです。

沖縄戦のこの惨劇を決して忘れてはなりません。決して風化させてはなりません。

本日、糸満市摩文仁の平和祈念公園で沖縄県主催の「沖縄全戦没者追悼式」が開かれました。県内各地でも様々なかたちで戦没者追悼が行われています。私たちは県民のみならずとも沖縄戦で亡くなられたすべての方々に心からの哀悼の意を捧げます。私たちは、戦争をもたらした惨劇と非人間的な実相を強く心にきざみ、鎮魂と不戦の誓いを新たにします。

米軍に占領され、1972年に日本に返還された後も、国土面積のわずか0.6%に過ぎないこの島に、全国の米軍専用施設の75%が集中しているのです。この米軍基地が、県民生活に大きな負担を強いています。

本年5月成立した、「米軍再編法案」は、昨年5月の日米安全保障協議会(2+2)の日米合意を実行するものでありますが、私達が強く求めている米軍基地の整理・縮小につながるものではなく、新たに米軍の移設される地域では、環境等市民生活への影響が懸念され、地域の負担軽減に向けた実行ある対応が求められます。

さらに基地が存在し米軍が活動できるのは、日米地位協定によります。事件・事故が後を絶たないのは、この地位協定に問題があるからです。問題を一言で言えば、米軍は日本の主権を無視できる仕組みになっているのです。

日本政府は、1960年協定が結ばれてから46年が経過しても欠陥地位協定の見直しをしないまま、運用の改善で曖昧にしてきました。これでは根本的な問題の解決にはなりません。連合は日米地位協定の抜本的な見直し案をつくりました。ドイツや韓国では地位協定の改定を実現させています。日本でも見直し案をもとに地位協定を改訂させなければなりません。

一方、基地に働く仲間たちの雇用や地主的権利確保、環境保全や跡地利用などの対策をしっかりと実現させなければなりません。

連合は、この「平和行動in沖縄」を皮切りに広島・長崎・根室の4つの平和運動を取り組みます。核兵器廃絶に向けて連合・原水禁・核禁会議が共同大会を8月に被爆地で開催します。また北方領土返還運動ですべての運動団体が9月に根室市のノソップ岬へ結集します。

職場や地域から働くもの力を集め、この4つの平和行動を成功させましょう！

2007年6月23日  
連合2007平和オキナワ集会

## 連合の平和行動は8月の広島・長崎、 9月の根室(北方領土問題)へと 引き継がれます。

## 「スズキ自販沖縄」に訪問して参りました。

なんとショールーム上の照明に、ハイビスカス型のネオン管が使われていました。お店の中もお花がいっぱい(写真下)



右から2番目が小林 武夫 社長。男性の場合、かりゆしウェアの上着に、普通のスラックス・皮鞋というのが、夏の沖縄のフォーマルスタイルだそうです。

## 直営代理店 「スズキ自販沖縄」オルグ

スズキ労連としては初めてのオルグ。沖縄独特の市場環境、職場環境についてお話を伺いました。また労連の活動状況、スズキ販売による直営代理店の組織化について意見交換を行いました。



浜松グランドボウルにて。家族で参加の組合員も多くとても和やかな大会です。

ただいま  
活動中!!

## 組合活動日記

このコーナーでは普段は知ることのできない各単組の文体活動を中心に紹介していきます。

単組名：平岡ボデー労働組合  
所在地：静岡県浜松市西区桜台1-14-1  
組合員数：272名  
結成年：1961年  
レポーター名：秋場和彦



## 恒例の「春のボウリング大会」を開催しました!

平岡ボデー労働組合は、5月27日(日)、春のボウリング大会を浜松グランドボウルにて開催いたしました。ボウリング大会は毎年春と秋に開催しており、平岡ボデーで働く社員全員が参加資格を持っていて、さらに、組合員の家族2人まで参加することができます。参加賞も豪華で、ボウリングのうまい下手に関わらず、運で豪華商品を手に入れることが可能なルール設定になっております。

試合形式もハンデ戦となっており、個人優勝をしますと、次回の大会からハンデが無くなってしまいます。ちなみに現時点でハンデ0は6人、その他の人はハンデがあり、一般男性が1ゲーム20点、一般女性1ゲーム50点、子ども1ゲーム70点のハンデをもらえますので、毎回誰が優勝するか分からないスリリングなゲーム展開が繰り返されます。

参加者も毎回60人前後と安定しており、この年2回のボウリング大会は平岡ボデー労組の恒例行事となり、欠かすことのできないイベントへと成長いたしました。次回は秋の大会、11月18日の開催を予定しておりますが、また多くの組合員が参加し、大いに親睦を図ってほしいです。

## スズキ労連組織内議員 田口章は考える。



「おもしろいけどもなまき世をおもしろく」「今より早いときははない」がモットーです。  
浜松市議会議員 田口章

## 第三の道

私の好きな政治家のひとり、イギリスのブレア首相が引退しました。トニー・ブレアは、1983年、30歳の若さで国会議員に当選。87年に「ニュー・レイバー(新しい労働党)宣言」を表明し、94年、わずか41歳で「労働党」党首に就任しました。97年に行われた総選挙で、「労働党」は地滑り的な大勝を果たし、44歳の若さでイギリス首相になりました。そして昨日、56歳のブラウン氏に後を託し、54歳の若さで「ダウニング街10番地(首相官邸)」を去ることになったわけでした。

イギリスでは1960年代から70年代にかけて、「英国病」と呼ばれるほどの経済停滞が続きました。それを「規制緩和」や「民営化」、「市場主義」で、経済活性化を進めたのが、「鉄の女」サッチャー首相でした。79年に誕生したサッチャー首相率いる「保守党」政権は、続々と新自由主義改革を推進しました。しかし、このサッチャー改革は、経済的には奏効した一方で、行き過ぎた「市場主義」、「格差の拡大」をもたらしたのも事実でした。

当時のイギリス「労働党」は、昔の日本の「社会党」のようなものといつてよいでしょう。イギリスは早くから2大政党制で、「保守党」「労働党」が政権を奪い合っていたのですが、ブレアは、まず「労働党」改革を行ったわけでした。ブレアは言います。

「変化なき党は死ぬ。ニュー・レイバーは歴史の記念碑ではなく、生きている運動である」。

ブレアは「変化すること」の大切さを知っていたと言えます。97年の総選挙で、党首トニー・ブレアは、「レイバー・マニフェスト「イギリスはもっとよくなる」」を掲げ、419議席を獲得(+148)。「保守党」が165議席(△171)だったため、改選前の「労働党」271議席、「保守党」336議席から、まさに「歴史的」な大逆転を果たしたわけでした。

あれから10年。この間の施策の功罪には、今日は触れません。10年間にわたり、イギリス再生に取り組んだ首相は、イラク戦争への対応などから、徐々に国民の信を失い、今回の交代劇になりました。確かに、「米国追従」の姿勢はなんとも残念でしたが、それでも、ブレアの10年間は決して色あせるものではないと思います。

私は、10年前、トニー・ブレアに憧れたひとりでした(まさかその頃は、自分が選挙に出るとは思っても見なかったですが…^^;)。イギリスは、おかれた国内状況や、政治状況なども日本と似たところがありますし、同じ「議院内閣制(大統領制でなく議会が首相を指名する)」を取っています。「日本においても政権交代は可能。私は労働組合の役員ではあるが、「オールド・レイバー」ではない。まさに、「ニュー・レイバー」のひとりとして、これからの日本を、より良くしたい…」と思ったものでした。

≪田口章ブログ：6月28日の記事より≫

## 田口章の「創ろう! 元気な浜松」 ブログ

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

浜松市政から身近な政治問題、プライベート(?)まで田口が気にしていること、考えていることがよく分かります。コメントも書き込みますので、皆さんのご意見をどしどしお寄せ下さい!

